

東海経済レポート

（2019年5月）

～景気は底堅さを維持しつつも、拡大ペースは鈍化～

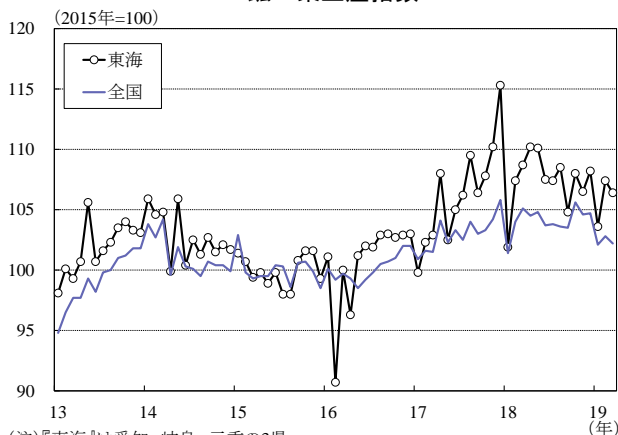
【足元の経済情勢】

- ◇ 東海経済は全体として底堅さを維持しているものの、その拡大ペースには鈍化が見られる。企業部門では、輸出が増加基調を維持しているものの、生産は一進一退となっており、金属工作機械の受注も前年比減少が続いている。家計部門では、良好な雇用環境の下、個人消費が概ね堅調に推移している。
- ▶ 生産は、3月の鉱工業生産指数が前月比▲0.9%と、2ヵ月ぶりに低下した。業種別では、電子部品・デバイス工業が前月比2桁の上昇となったほか、生産用機械なども増産となったが、当地域主力の輸送機械が2ヵ月ぶりに減産となった。
 - ▶ 金属工作機械の受注は、当地区主要8社の国内受注額が3月に前年比▲30.9%と4ヵ月連続で減少した。全体の4割を占める一般機械工業からの受注が5ヵ月連続、3割を占める自動車工業からの受注が4ヵ月連続で、それぞれマイナスとなった。
 - ▶ 輸出額（円ベース）は、4月に前年比+2.9%と3ヵ月連続で増加した。米国向け、EU向けは増加したが、中国向けが同▲4.7%と減少した。中国向けは2ヵ月連続の前年比マイナスであり、1月以降の累計でも同▲3.7%と減少している。品目別では、自動車部品が6ヵ月連続の減少となったが、自動車や電気機器、一般機械などは増加を続けた。
 - ▶ 3月の有効求人倍率は、愛知県、岐阜県、三重県が揃って低下した。各県とも小幅な上下動を続けているものの、水準はいずれも高位を維持している。3県ともに労働需給の引き締まった状態が継続している。
 - ▶ 個人消費関連では、3月の小売主要3業態の販売額が前年比+2.2%と3ヵ月ぶりに増加した。業態別では、スーパーが同+5.0%と3ヵ月ぶりに増加に転じた。一方、3月の新車販売台数は同▲6.3%と、3ヵ月ぶりに減少した。
 - ▶ 住宅着工戸数は、3月に年率換算9.0万戸、前年比+17.0%と4ヵ月連続で増加した。各用途とも前年比増加となったが、中でも持家が9ヵ月連続、分譲マンション及び分譲戸建てがいずれも4ヵ月連続でプラスと、各々増勢を維持している。

【生産①】

3月の鉱工業生産指数は前月比▲0.9%と、2ヵ月ぶりに低下。

鉱工業生産指数

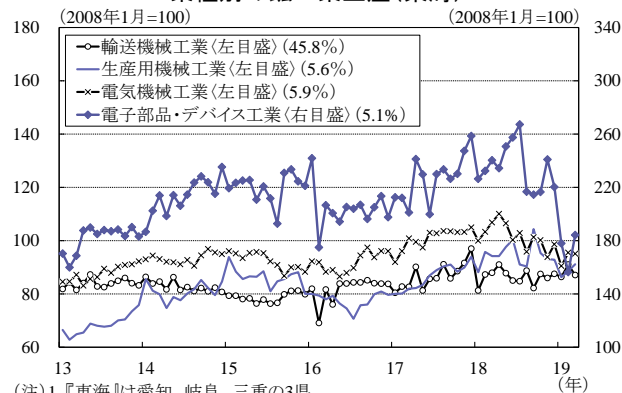


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【生産②】

電子部品・デバイス工業や生産用機械で前月比増産となったが、主力の輸送機械は減産となった。

業種別の鉱工業生産(東海)

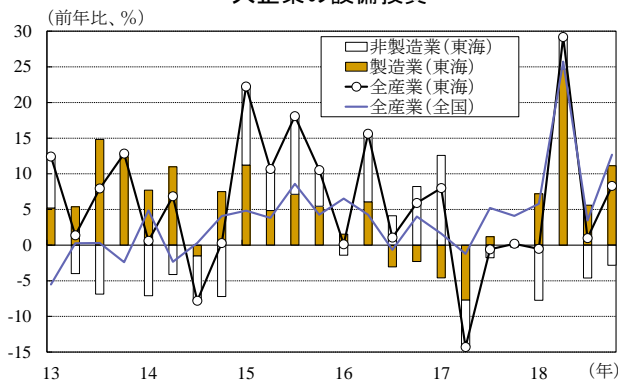


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2.()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準)。
中部経済産業局算出
(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【設備投資】

10-12月期の大企業の設備投資は前年比+8.3%と3四半期連続で増加。製造業が堅調を維持した。

大企業の設備投資

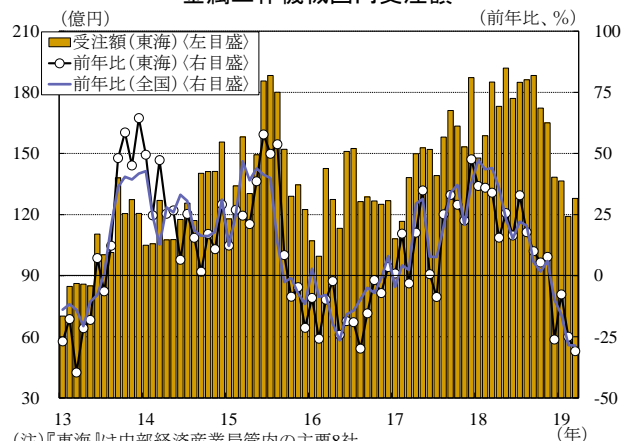


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
2.資本金10億円以上の企業を対象。
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
(資料)東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額(当地区内の主要8社)は3月に前年比▲30.9%と、4ヵ月連続の減少。

金属工作機械国内受注額

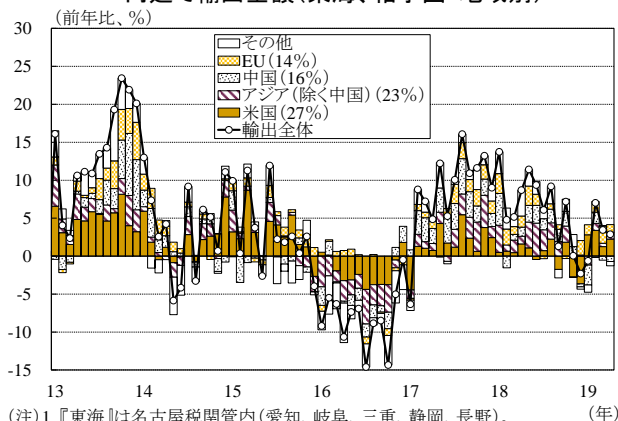


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【輸出】

4月の輸出額(円ベース)は前年比+2.9%と3ヵ月連続の増加。米国、EU向けなどが増勢を維持。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

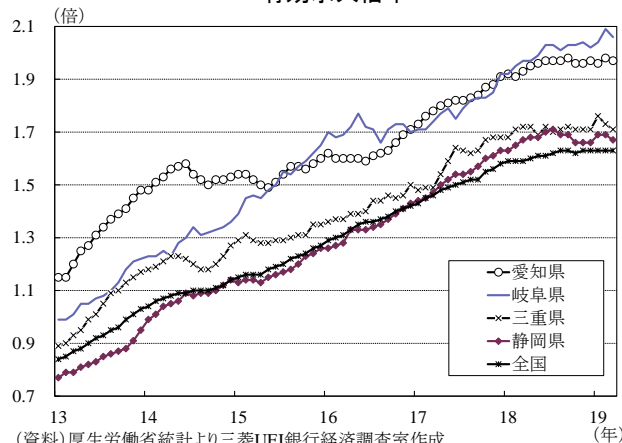


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2.()内の数値は2018年輸出総額に占めるシェア。
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【雇用】

3月の有効求人倍率は、愛知、岐阜、三重の3県揃って小幅低下。水準は3県ともに引き続き高位。

有効求人倍率

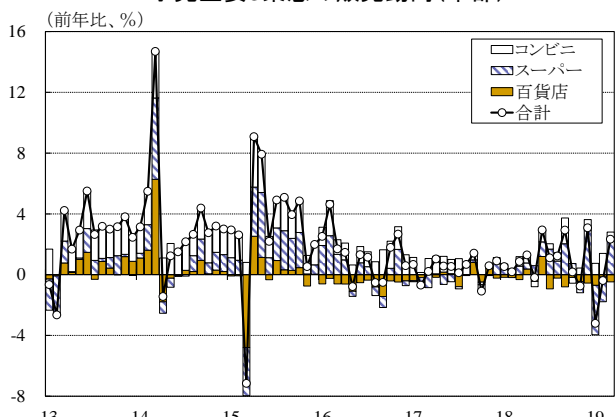


(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【個人消費】

3月の小売主要3業態の販売は前年比+2.2%と3ヵ月ぶりの増加。スーパーの増加が寄与。

小売主要3業態の販売動向(中部)

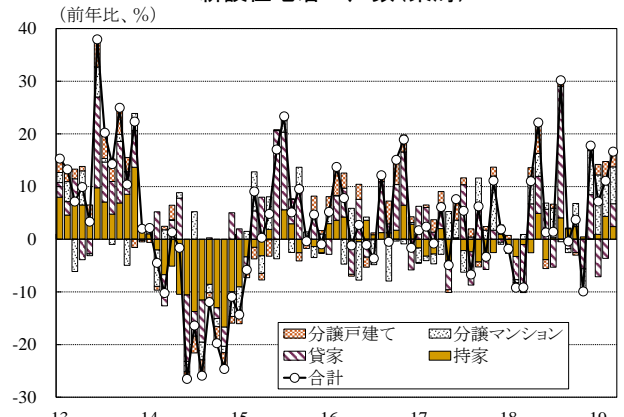


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

3月の住宅着工戸数は年率換算9.0万戸、前年比+17.0%増。各用途が揃って増加となった。

新設住宅着工戸数(東海)

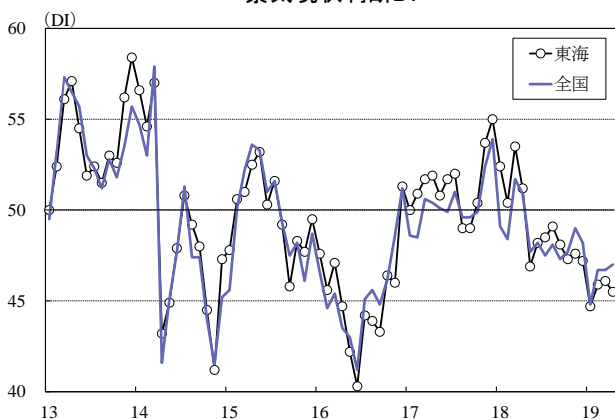


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

4月の現状判断DIは45.5と、3ヵ月ぶりに低下。水準も好不調の分かれ目となる50以下が継続。

景気現状判断DI

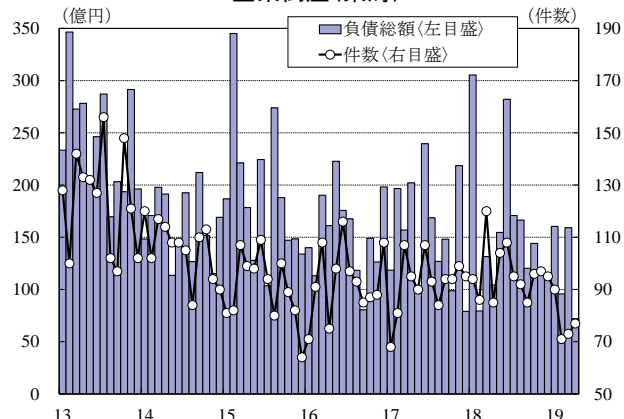


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

4月の企業倒産件数は77件で、前年比▲9.4%の減少。負債総額は72億円で、同▲30.9%の減少。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格】

WTI先物は、中東情勢が緊迫化する一方、米中対立激化等もあり、1バレル60ドル程度で一進一退。

原油価格

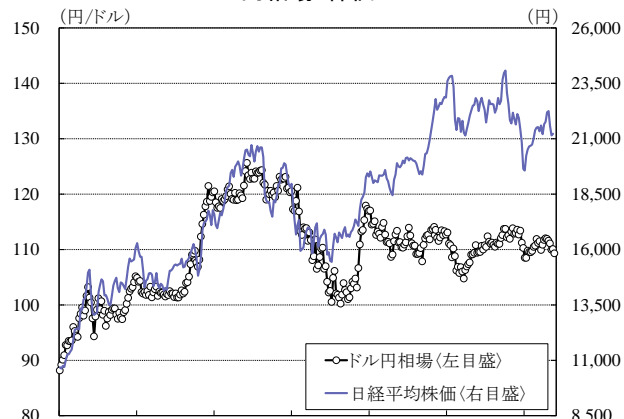


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

為替市場はリスク回避の円買いが進み、5月は円高方向に推移。本邦株価も連動する形で下落。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。